

大分大学教育学部附属特別支援学校出前講座を行いました

[Tweet](#)  [印刷用ページを表示する](#) 掲載日：2023年11月14日更新

県教育委員会は障がいがある方の生涯学習を推進しています。
学校卒業後の学びの場を知ってもらう取組のひとつとして、
大分大学教育学部附属特別支援学校で出前講座を実施しました。

高等部3年生5名が卒業後にやってみたいことを考えた後、
絵手紙講座を体験しました。



絵手紙講座の講師は原野彰子さんです。



原野さんの話を聞きました。



好きな素材を選び、絵手紙を描きました。



作品を最後に鑑賞し、
コメントをもらいました。

全員、絵手紙は初めてだったようですが、集中して何枚も書き上げました。線や色使いに1人ひとりの個性があらわれていました。「またやってみたい」という声も聞かれました。

原野さんの「絵手紙講座」は、あすぴあ（大分県身体障害者福祉センター）で毎年行っています。

宇佐支援学校出前講座を実施しました

[Tweet](#)  [印刷用ページを表示する](#) 掲載日：2023年11月29日更新

県教育委員会は障がいがある方の生涯学習を推進しています。

その取組のひとつとして、宇佐支援学校での出前講座を11月27日（月曜日）に実施しました。

卒業後にやりたいことを考えるワークショップと県や豊後高田市、宇佐市での取組説明を行ったあと、絵手紙講座とフットサル講座に分かれて活動しました。

生徒のみなさんは生き生きと取り組んでいました。



宇佐市の自立支援協議会から、石川さんが来て説明しました。



講師の原野彰子さんの指導のもと、絵手紙を制作しました。



「卓球」「水泳」「ダンス」など、やりたいことを考えました。



できあがった作品をみんなで鑑賞しました。



リズム体操のあと、フットサルを体験しました。